

令和6年度熊本市子ども会連合会活動目標（案） 部分が新規

子ども会は、家庭・学校では与えることが困難な不可欠な経験を与えることを目的とし、未来を築く子ども達に関わる組織としてこれまで様々な活動を積極的に展開してきました。

ただ、少子化、地域のつながりの希薄化、保護者意識の変化等により会員減少が続いており、子ども達の様々な経験をする機会が少なくなっています。今こそ、子ども会が果たしてきた「地域の子どものは地域で育む」「子どもの手による子ども会」等のスローガンに立ち返るとともに子ども会の課題と魅力に向かい合い、子ども達のために前へ進むことが求められています。また、その取組を外部へ積極的に発信し、協力・賛同を得ながら「子ども会の輪」を広げることも必要です。

そこで、私たち熊本市子ども会連合会は、子ども達に「わくわく・ドキドキの子ども会体験」を通して子どもたちの姿「生きる力」を育む子ども会活動の充実・振興を図るために次の活動を目標に掲げ、その実現に努めます。

1 子どもの手による子ども会の実現(子どもが求める『魅力ある』子ども会活動へ)

- (1) 子ども達でできるところは任せる。できないところはできるようにサポートすることを基本として活動を行います。
- (2) 子どもの会長等役割を決めて子ども会の組織を確立し、計画・立案の段階から子どもの代表を参加させ、活動の進行や運営等の機会を用意します。

2 子ども会活動の実動・質的向上を図ります。

- (1) 令和3年度にスタートしたSDGsの取組をさらに強化し、実践を積み重ねます。
- (2) 会員以外への参加の呼びかけを積極的に行い、助成事業を活用した「わくわく・ドキドキの子ども会体験」を県下にて展開し、会員増へつなげます。
- (3) スポーツレクリエーションフェスタを子ども会大会として開催し、子ども会の魅力を県下へ伝える機会とします。
- (4) 安全啓発（KYT）の出前研修等を実施し、指導者・育成者の安全意識の高揚に努めます。
- (5) 行事实施前にKYTを取り入れ、活動中や活動前後の事故防止に努めます。

3 ジュニア・リーダー（JL）及びユース（シニア）・リーダーを育成します。

- (1) 単位子ども会、市町村子ども会の育成者・指導者組織を充実するとともに、ジュニア、ユース（シニア）・リーダーの組織づくりを支援します。
- (2) リーダー会の運営を充実させ、子どもたちが達成感を感じる活動につなげます。

4 加入促進のために県子連組織の拡充や子ども会活動の啓発・支援強化します。

- (1) 「課題解決・魅力アップ検討委員会」からの提案プランを全体で共有し、具体化を図ります。（スポーツレクリエーションフェスティバル、協賛事業）
- (2) 「課題解決・魅力アップ検討委員会」からの提案プランの周知、活動状況等をSNSを活用した発信を強化します。
- (3) 県・市町村子連情報等をHP（市町村 NOW）に定期的に公開し子ども会の情報発信に努めます。

5 協賛施設、関係機関・団体とのパートナーシップの強化を図ります。

- (1) 協賛事業の県下全域拡大に向けて市町村子連へのサポート体制を強化します。
- (2) 各種団体・社会教育関係団体との連携や議員連盟（全子連）の周知に努めます。
- (3) 全子連事業「放課後安心プラン」の加入数を増やし、会計基盤の強化を図ります。